

南武線・鶴見線 要望項目一覧 (14件)

- I 輸送力増強..... 2
 - 1 輸送計画の改善
 - < 運転本数の増発等 >
 - (1) 南武線の増発、車両の増結、快速運転 (継続)
 - (2) 南武支線の増発 (継続)
 - (3) 鶴見線のダイヤ改善等 (継続)
 - < 他路線への乗入れ >
 - (4) 南武支線の川崎駅への乗入れ (継続)
- II 利便性向上..... 3
 - 1 駅施設等の整備
 - (1) 矢向駅の改札機の増設 (継続)
 - (2) 武蔵小杉駅の混雑対策 (継続)
 - (3) 武蔵中原駅の混雑対策 (継続)
 - (4) 武蔵溝ノ口駅における安全性の確保 (継続)
 - (5) 津田山駅ホームの屋根の増設等 (継続)
 - (6) 鶴見駅の混雑対策 (継続)
 - (7) 老朽駅舎等の改良 (継続)
 - (8) 改札口の新設 (継続)
 - (9) 中野島駅ホームの改良 (継続)
 - (10) 武蔵小杉駅連絡通路の熱気対策 (継続)

I 輸送力増強

1 輸送計画の改善

<運転本数の増発等>

(1) 南武線の増発、車両の増結、快速運転（継続）

南武線については、新型 E233 系車両が投入され、輸送力増強が図られたところですが、沿線全体の鉄道利用者は年々増加傾向にあります。

また、南武線は川崎市を縦貫し、川崎市民にとって最も重要な交通機関でありますので、①立川行き最終電車の繰下げ、②増発・車両の増結（長編成化）、③快速運転の朝・夕の導入等、利用者の利便性の向上と輸送力増強に向けた取組みを引き続き推進されますよう要望いたします。

（川崎市総合都市交通計画）

(2) 南武支線の増発（継続）

臨海部では、新たな企業立地等が進んでおり、今後も従業員の増加が見込まれているため、南武支線は、川崎臨海部への通勤者にとって重要な交通機関となってきています。また、沿線地域では、大規模工場跡地等に大規模住宅施設が建設され、多くの沿線住民、学生等にとって重要な交通機関となっております。

このような中、貴社のご尽力により、平成 28 年 3 月のダイヤ改正で、川崎新町～浜川崎間の小田栄駅開業に合わせ、朝通勤時間帯に上下で 3 本増発が行われたところですが、一層の利便性向上に向けて、運行本数について、更なる増発を要望いたします。

(3) 鶴見線のダイヤ改善等（継続）

鶴見線は、沿線の通勤・通学者や住民にとって大切な交通手段であります。平成 21 年 3 月のダイヤ改正により、支線を中心に日中大幅に減便され、立地企業から大変不便であるとの声が寄せられています。

さらに、平成 30 年 4 月には鶴見小野駅を最寄り駅とする「横浜市医師会聖灯看護専門学校（総定員 520 名）」が開校し、沿線の利用者が大幅に増加することが見込まれます。

ついでには、通勤・通学時の輸送力を確保するとともに、減便された区間について、ダイヤ改正前の運転本数を確保されるよう要望いたします。

<他路線への乗入れ>

(4) 南武支線の川崎駅への乗入れ（継続）

南武支線は川崎臨海部への通勤者にとって重要な交通機関であるとともに、沿線地域に建設された大規模住宅施設には、東京都心や横浜方面へ通勤する住民が多く、路線バスや自転車によって、川崎駅にアクセスする交通が非常に多くなっています。

また、平成 29 年度に策定予定の（仮称）臨海部ビジョンを踏まえ、今後の臨海部の持続可能な発展に向けては、当該地域の交通基盤の整備が必要不可欠であると考えています。

ついては、通勤経路に多く使用される路線が停車する川崎駅へ乗り入れられるよう要望いたします。

（川崎市総合都市交通計画）

II 利便性向上

1 駅施設等の整備

(1) 矢向駅の改札機の増設（継続）

矢向駅周辺では、近年、従前にあった事業所から新たに都市型住宅や研究施設等へと土地利用転換が進んだことに伴い、当駅乗降客数は平成 16 年度まで緩やかな減少を続けておりましたが、平成 17 年度に大きく増加に転じてから、その後は増加傾向であり、朝のラッシュ時における改札口は非常に混雑しておりますので、改札機を増設されるよう要望いたします。

(2) 武蔵小杉駅の混雑対策（継続）

武蔵小杉駅については、南武線ホームは朝ラッシュ時には駅構内で著しい混雑が発生しており、さらに、横須賀線への乗換通路をかねているため、列車待ち徒列と通行客との輻輳が生じています。ホームドアが未設置であるためホームから転落等も起こりうる状況と見受けられます。早急なホームドアの設置等の混雑・安全対策に取り組まれるよう要望いたします。

(3) 武蔵中原駅の混雑対策（継続）

ラッシュ時の改札口は、改札口へ向かう利用者と、改札口を出て連絡歩道橋へ向かう利用者が交錯し、混雑している状況です。

ついては、ラッシュ時の改札口付近の歩行者動線が交錯しないよう、適切な混雑対策に取り組まれるよう要望いたします。

(4) 武蔵溝ノ口駅における安全性の確保（継続）

武蔵溝ノ口駅は、コンコースから上りホームまでの通路及び階段の幅員が狭く、朝のラッシュ時には階段を昇降する乗客で著しく混雑している状況となっております。

貴社のご尽力により、平成 16 年 7 月より上りホームが延伸され、このような状況が一部緩和されましたが、引き続き利用者の安全性確保と移動の利便性向上のため、上りホームの階段拡幅等の安全対策を実施されるよう要望いたします。

(5) 津田山駅ホームの屋根の増設等（継続）

津田山駅はホーム屋根が短いため、雨天時の乗降において足元が滑りやすい状況であり、利用者は不便を感じております。ついては、駅改良（自由通路・橋上駅舎化）に併せてホーム全体を覆うように屋根を増設されるよう要望いたします。

(6) 鶴見駅の混雑対策（継続）

鶴見駅については、ラッシュ時のホームは乗客であふれ、著しく混雑している状態となっております。

このうち、京浜東北線ホームには可動式ホーム柵が平成 29 年度中に供用されることから、列車と乗客との接触事故が減少し、安全性が確保されることを期待しています。引き続き、鶴見線を含む駅全体の適切な混雑対策に取り組まれるよう要望いたします。

(7) 老朽駅舎等の改良（継続）

バリアフリー化等の施設改善にあわせ、老朽施設の更新や利用者の利便性向上の観点から、駅舎、跨線橋、トイレ等の駅施設の改良を早急に実施されるよう要望いたします。

また、車いすやベビーカー利用者等が容易に利用できる拡幅改札口の増設と、鶴見線のトイレが無い駅についてのトイレ設置を要望いたします。

(8) 改札口の新設（継続）

南武線については、改札口が片側にしかない駅がありますが、利用者は駅の横にある踏切を横断しなくてはならず、大変不便でかつ著しく混雑している状況となっております。

利用者の安全性確保と利便性向上のため、向河原駅西側、平間駅西側に改札口を新設されるよう要望いたします。

南武線駅アクセス向上策案の対象駅については、整備されるまでの間は、次の位置に改札口を新設されるよう要望いたします。

- ・久地駅南側、宿河原駅北側、中野島駅北側

(9) 中野島駅ホームの改良（継続）

中野島駅は乗降客数が近年増加傾向にあります。ホームが大変狭く、混雑時には大勢の人であふれて著しく混雑している状況となっております。

ついては、利用者の安全確保の観点から、改札口付近の滞留スペースや下りホームの一部を拡幅されるよう要望いたします。

(10) 武蔵小杉駅連絡通路の熱気対策（継続）

武蔵小杉駅の南武線と横須賀線・湘南新宿ラインをつなぐ連絡通路において、

非常に暑くなる夏場の対策として、通気口の設置やエコクーラーの配置などの改善を行っていただいたところですが、引き続き、利用者の快適な通行環境を確保していただくよう要望いたします。